

令和4年度 政策討論会 第二分科会(第2回)要点記録

- ・日時 令和4年8月18日(木)
- ・場所 第1委員会室
- ・会議時間 10:00 ~ 10:35
- ・出席者 鳥居 宏次 (座長)
河合 馨 (副座長)
堂本 啓祐
柔原 佳一
米田 貴志
稲田 悦治
中井 良介
今口 千代子 (座長・副座長以下は議席番号順)

・議事内容

討論テーマ『シティセールスについて』

<各議員の発言要旨> *順不同

- いただいたシティセールスプラン(以下プラン)と市の人口ビジョンによれば、岸和田市のシティセールスの現状は芳しくない。これまでも指摘されているが、市の人口動態は出生を死亡が上回り、転出が転入を上回り、人口減少が続いている。転出超は平成14年ごろに始まるが、転出者の年代は30~40代の子育て世代が多くを占め、子どもの転出と共に岸和田の人口減少に拍車をかけており、市の将来にとっても由々しい問題である。
プランではシティセールスのポイントは、魅力ある市の施策とその発信力にあるとしている。市の現状を市がどう判断し、手を打っていくか、議会も含めて問われていると思う。
- 当該テーマをご提案いただいた議員から、本市の「岸和田市シティセールスプラン」についてのご意見をお伺いしたい。
- 「第5次岸和田市総合計画」中で、シティセールスはどのように位置づけられているのか担当部門に聞きたい。特に、全ての職員が主体的に取り組める計画となっているか、ターゲット層をどこに置いているのか等、戦略の具体的な内容を確認したい。
- 配布した資料をもとに簡潔に申し上げると、結果が得られているのか見えづらい状況である。また、これまでの展開されてきたシティセールス自体が岸和田市民に広く知られていないことが残念である。
尚、プラン取組み期間中の人口推移は下記の通りである。

平成27年1月⇒人口200,148人＊プラン実行前

平成28年1月⇒人口199,214人＊プラン開始

平成29年1月⇒人口198,017人

平成30年1月⇒人口196,871人

平成31年1月⇒人口195,350人

令和2年1月⇒人口194,162人＊プラン終了

プラン期間中3.0%の減少であり、これまでの推計と変化無し。

尚、現時点（令和4年8月時点）であるが、ついに19万人をも下回り、189,862人となっている。

併せて、「今後の方向性」の資料に「近隣市との人口推移の比較・男女20代」（P8）の状況が示されている。岸和田市、貝塚市が2.3%減少。泉佐野市10.2%、和泉市0.2%、それぞれ増加している。

これは本市の展開するシティセールスのメインターゲットとする層に大きく関わるのである。保育所を必要とする世代が含まれる。また、同比較の30代・40代は全市で減少している。これは、子育て世代への政策だけでは留めることができないのではないかと。世代間を超えて魅力を感じるもの、定住に繋がるものが必要ではないか。また、今後はシティセールスプランからシティセールス方針に改められる事もあることから議論を深め、意見を出せればと考える。

- 先程、本市で展開されている政策の議論にも及ぶ場面があったが、この担当部署は施策をつくる部署ではない。展開されている施策を拾い上げて、ターゲットとなる層やエリアにアピールする事が仕事である。その観点から考えると本市の展開されている施策に合致するエリアにピンポイントでターゲットに明確にアピールできているかという検証が必要ではないか。

例えば、新産業ビジョンにテレワークやサテライトオフィスに取り組む事が記載されているが、それらの施策をもとに企業や団体、大学に、狙うターゲット層へアピールしていくかという部分もシティセールスの取り組みだと考える。その様な手法に変えていくことが大事ではないか。自然豊か、食文化等々のアピールも必要と思うが、どの自治体も行っている。

ここ泉州で言えば、どの自治体もあまり大きな差にはならないのではないかと。

- 岸和田市シティセールスプラン・方針、今後の方向性が作成されても本市の魅力を創造し、そのPRで何が重要か、また、そのアピールの在り方が充実されていないように思われる。

- 本市に「住みたい」「住み続けたい」「行きたい」と感じる人を増やすために、シティセールスプランを作っているが、人口減少に歯止めがかからない中、25歳～44歳の人口減少が顕著となっている。子育て世代への施策が列挙されているが、他市と変わらない状況である。特に18歳までの子ども医療費助成では府下43自治体中28市で行われ、今年度10月から6市で実施される。少人数学級も進んでいる。こんな中で、本市はできていない。他市に取り残された状態になっている。そんな中で、自然やお城など魅力あるものはあるが、何を売りとしていくか、とても難しく感じる。

- 議論を進める上で、本日は各議員の意見等はこれ以上進みにくいと思う。については、次回は理事者を招へいし、現状や今後の進め方等について説明を受ける事を提案する。

- 5年間のシティセールスプランを実施し、令和2年3月に「今後の方向性」として取りまとめている。しかしながら、段階的にひとつずつ実践されていないと思われる。また、取り組むべき課題とターゲットの絞り込みが出来ていないとも思われる。
推進担当及び市職員がそれぞれの役割を果たしているのか疑問が残る。内外へのPRが出来ていない。これでは、最終目標である定住人口の増加は望めない。
- 本市では、平成27年以降、取組んでいるが、より効果的なシティセールスの在り方や手法について考えたい。本市ではこれまでシティセールスを実施し、毎年その効果測定を調査してきた。次回は理事者を招へいし、事業の実施により、どの様な効果や問題点があるのか聞きたい。次回は上記の報告を受けた上でさらに議論を深めたい。

★ 次回の討論会日程は、9月29日（木）10:00～

* 理事者招へいの上、説明後討論を進める。